

勝林寺寺報

としよりの愚痴



八十三歳の年寄り

いま日本の国が抱えている一番大きな病気は「少子高齢化」だということは、私もすつと前から聞いて知つておりました。

自分の家だってそうであります。わたしの家内は七十五歳のときから養護老人ホームにお世話になつて、息子に先立たれた嫁一人で家を切り盛りして孫一人を大学にやつています。

だから私、なんぼ年寄つてもちつとも助

けにならねば相い済まんと、田圃も減らさず頑張つてはいますが、ときどき嫁から「おおきにおおきに」とお礼言わると、なおさら

「長く生きとつて申し訳ないな」と真剣悩

んでしまうのです。

ところで先日、町の公民館で、「町村合併に関する説明会」がありまして、私も出席しましたのですが、いややはなんともわびしくて悲

しくて、いても立つてもおられんような気持ちでした。

国の財政事情ではとても今までどおりの市町村への補助金は出せん。市町村の数を大幅に減らしなさいといふ。

市町村のほうでも、今でさえ借金だらけてあるのに国からの補助金が減らされては大変。

そのうえ地方の町ほど少子高齢化がどんどん進んで老人福祉に金がかかるし税金收めてくれる人はだんだん少なくなるしどうしてみよ

うもないのです。しかし、それらはこれから交通機関の整備とかIT機器の導入などでなんとか解決出来る

役場の人々が入れ替わり立ち代わり、町村合併の問題点を説明してくれました。

役場が遠くなる。学校統合がすすむと通学に不便だなどなど。

しかしそれらはこれから交通機関の整備とかIT機器の導入などでなんとか解決出来る

が、「サテ老人福祉は」と、わたし自分の立場で考えてみたのです。

行政の側に便利なように合理的に機械的に進められる老人福祉ってさぞ寒々としたものになつてしまふだろうなーと思います。

人間味も暖かみもないことになつて仕舞うのは必定です。

ちなみにわたしの村では月に一回ではあります

が、「つどい」をしてくれています。老人を大切にしてくれます。

「長生きして頂いてありがとうございます。古い習わしや大切な仕事のしかた、また昔のお料理などを教えてください」と言うことです。

年寄りも一生懸命昔のやり方を思い出して予習勉強をしたりで、本当に嬉しい一日がすごせます。

こんなのが本当の老人福祉ではないかと

思います。

老人を厄介者にあつかうのではなく、人生の教師として見る。

老人もそのために迷惑かけんように、面々に自分で励む。そして見事に老を生き死んでみせる。

そういう福祉は、村なかの地域地域ではじめてできることではないのでしょうか。

とおとうことで、今度のうちの「村のつどい」

にご院家さんきてもらつて「お仏壇」のお給仕の仕方をわしらといつしょに若いもんに教

えてやつていただきたいのです。

年寄りも、しょれて愚痴ばかり言つてはおれません。勉強しなかつたらあかんと思いまして。

新役員選任

西池

森友

健太さん

成田

昴

さん

金久

聖奈さん

兼井功

太郎さん

大石

智

さん

玉井

秀憲さん

西池

島西

白木寺

入学おめでとう



一日	西光研究会
二日	八代光顯寺永代経
六日	湯口良明氏宅法事
七日	島西白木寺

住職繼承奉告法要

蓮如上人遠忌法要

八日

灌仏会(花祭り)(新遷座の誕生日)

朗読ボランティアあすなろ総会

九日

弘道小学校(西池希里)入学式

九日

出石幼稚園(西池入海)入園式

十日

木村和則氏宅法事

十四日

御津町政源寺別永代経

十五日

藤田忠夫氏宅法事

十六日

あすなろ活動日

十六日

夜会法座

二十日

春の研修会(観桜会△)

二十一日

出石組『連研』(勝林寺)

二十六日

石田昌志氏宅法事(老)

二十七日

森戸康雄氏宅法事

二十八日

みのりを聞く会法座

二十九日

中島正枝氏宅法事

二十九日

福富護氏宅法事

三十日

直見寺・福寺・法事

三十日

名古屋宗円寺永代経

三十日

永井誠一氏宅法事

三十日

毎月一日『勝林寺寺報』発行

三十日

テレホン法話更新日

三十日

みのりを聞く会定例法座

自分相を

聴聞で

顧りみる

教徒門徒推進員連絡協議会

先意承問

「このころからか、私の家には「和顔愛語」という額がかかるあります。

「これ、ワグニアイゴと読むのやで。なごやかなお顔、慈しみの言葉でほとけさまはいつもわたしを呼んで下さるということや。如来さまのお姿のことや」

「前のご院家さまが教えてくださいました。その「和顔愛語」の額を見て、今も感じ入っているのがわが妻であります。

「なごやかな笑顔と慈しみの言葉。これは母親というものの姿そのものです。母親のころそのものです。わたしの母親もそうでした。ところがなかなか私はそううなれないのが今のわたしの悩みです。」

「和顔愛語」

わが妻にそうあつてほしいのは山々ではありませんが、これはちょっと無理と言うもの。なにしろ「和顔愛語」というのは如来様のお姿を現したことば。人間凡夫の望むべくもなことです。

私は母は、私が八つのときに死にました。父も六つの時に死んでいます。ですからわたし祖父母に育てていただき、別になんの支障もなく今日までくらしてまいりました。父や母の面影さえ定かではありません。

だが不思議なものです。私は、人様よりもっと実感を持って今も母に会うことのできる一瞬があります。「和顔愛語」のお経さまのことばの続き。問うてくださる)。

わざかながら残っている母の印象は、幼い切ないわたしの訴えを、そのまま黙つて一心問うてくれたその母の姿です。

声も姿も思い出すことは出来ませんが、「先意承問」。わたしの心をのぞき込むようにして、一心にわが子に問い合わせてくれる母の有り難さを誇りに思っているのでござります。

如来さまのお優しいお顔も慈しみのお声も、

そうだ、この子供の心に先駆けて「痛いかえ、辛いかえ」とくいいるように問わねばおれなり母のこころから生まれてくるのだ、

ご院家さまにそのようにはなしたら、「他力の信心をとる」というとも、別のことではない。南無阿弥陀仏のおよびごえに込められたその親心をよく知ったこと、それ以外にはないのだよ」と蓮如さまもおっしゃつて下さる。そんなふうにおしえてくださいました。

「阿弥陀さまの光」
三月五日
大阪城ホール
講師 ひろ さちや 先生

申込締切：4月15日(月曜日)

勝林寺 春季研修会(観桜会)

二案内

実施日：平成14年4月20日(日曜日)

第一部 围碁ボーリング大会
2:00 勝林寺集合 ゲーム開始 2~3ゲームします
会費：無料
場所：勝林寺本堂

第二部 研修会・報桜会
5:00 受け付け 5:30 おつとめ・法話 6:30 観桜懇親会 9:00 終了
会費： 男・15,000円 女・13,000円

<<参加申込先：仏社理事・仏婦評議委員>>

申込締切：4月15日(月曜日)

囲碁ボーリーは

老若男女

初めての方でも簡単にできる
楽しいゲームです

ふるつてご参加ください

そうです。
頭のよい子もいます。勉強出来ない子もいます。
努力家もいるし、怠け者もいるでしょう。

お念仏の世界には、上下のへだてはない。『仏説阿弥陀経』には、「青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光」と言う言葉がある。お淨土の阿弥陀さまのお光に照られた時、青色は青い光を放ち、黄色のものは黄色のうちに輝き、赤は赤い光、白のものは白く輝いて、互いに輝き合い照らし合うという意味である。

私たちの世界では、親の利己的な判断から、出来ない子に、無理やりにできるようにさせようとしているのではないでしようか。どちらかが出来ればかならず出来ないものがあります。相対の世界です。対立・比較・上下・差別の世界です。有無の世界です。「モノ」の世界です。もつと言えば子供を「商品」としてみているのではないでしよう。

それがお淨土の世界です。
も出来ない子も、努力家も怠け者も、それはそれとして光っているのです。輝くのです。みんなが最高にすばらしいのです。

仏光照曜最第一です。

こうした現代社会の歪を、もう一度真剣に考えてみましょうと、教えてくれるのがお念佛であると思います。

死を目前に苦しむわが子を救いたい一心で、母親はあるお坊さまに助けを乞いにいく。「からし」(ケシ)の実があるにはあったが、だしこれを夫を、妻を子供を失つて悲しみ喪に沈んでいる人たちばかりであった。親は一心に何軒も何軒も人の家を尋ねてみたが、「からし」の実があるにはあったが、すべて親を夫を、妻を子供を失つて悲しみ喪に沈んでいる人たちばかりであった。

「例外なく、だれもが同じ悲しみ苦しみのなかにいるのだ」。

人に抜きん出て、富や力を得ることが幸せではない。

一つ光にてらされてくらす御同朋(きょうだい)というしあわせと共に生きるよろこびを、お念仏のなかで確かめ合いたい。

(岩上加代子記)